

ApeosPort-VII C7788/C6688/C5588
DocuCentre-VII C7788/C6688/C5588

はじめにお読みください

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

⚠ 警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

各警告図記号は以下のような意味を表しています

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



静電気 注意 発火 注意 破裂 注意 感電 注意 高温 注意 回転物 注意 指挟み 注意

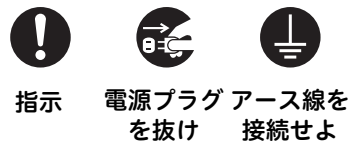
各警告図記号は以下のような意味を表しています

⊘ 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



禁止 火気 禁止 接触 禁止 風呂等での 使用禁止 分解 禁止 水ぬれ 禁止 ぬれ手 禁止

● 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



指示 電源プラグ アース線を 抜く 接続せよ

電源およびアース接続時の注意

⚠ 警告



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため機械後方の電源コードから出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・ 電源コンセントのアース端子
- ・ 銅片などを 850mm 以上地中に埋めたもの
- ・ 接地工事 (D 種) を行っている接地端子

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ ガス管 (引火や爆発の危険があります。)
- ・ 電話専用アース線および避雷針 (落雷時に大量の電流が流れる場合があります。)
- ・ 水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、機械には D 種以上の接地工事を必ず実施してください。



電源コードは、機械近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。



機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



電源コードにものを載せないでください。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。また、これら電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

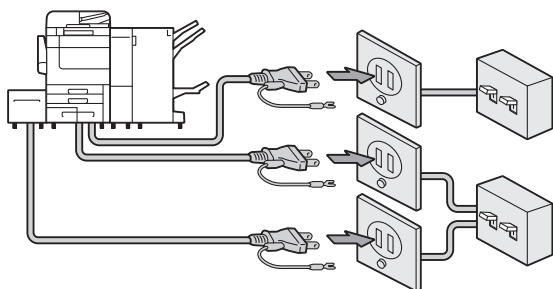


本機は 2 本の電源コードを使用しています。本機の電源供給を完全に停止するためには、すべての電源コードを抜く必要があります。



本機の電源容量は、電源コード毎に 11A、9A です。それぞれの電源コードは配電盤のブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じ配電盤のブレーカーにつながっているコンセントに接続するとブレーカーが遮断するおそれがあります。

周辺機器は配電盤のブレーカーの容量を確認し、本体とは別のコンセントに接続してください。



⚠ 注意



機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



連休などで長期間、機械を使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。



1 か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
- 電源コードにきれつや擦り傷などがいないか。

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

設置時の注意

⚠ 警告



機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

⚠ 注意



以下のような場所には機械を設置しないでください。

- 発熱器具に近い場所
- 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 調理台や加湿器のそばなど



機械の包装に使用している袋 / シートは幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。



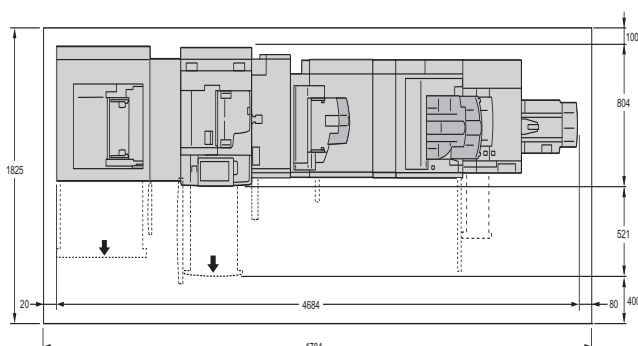
機械は、付属製品を含めた総質量に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。



機械には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

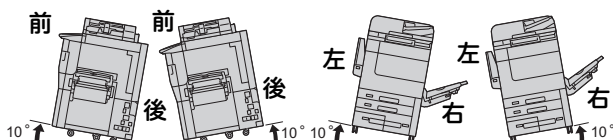
- 本体に大容量給紙トレイ C1-DS (オプション)、インターフェイスデッカー D1 (オプション)、インターポザー D1 (オプション)、天地トリマークリナー D2 (オプション)、紙折りユニット CD2 (オプション)、中とじフィニッシャー D6 (オプション)、小ロトリマースクエアフォールド D1 (オプション) を装着したとき



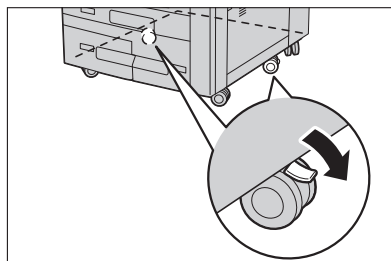
(単位: mm)



機械を 10 度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



機械を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。



本機器の使用環境は次のとおりです。

- 温度: 10 ~ 32 °C
- 湿度: 15 ~ 85 %

ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械内部に水滴が付着し部分的に印刷または画像読み取りできない場合があります。



機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。

機械使用上の注意



警告



本機のマニュアルに明記されていない作業は危険です。絶対に行わないでください。



この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。



次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- 機械の内部に水が入ったとき
- 機械が水をかぶったとき
- 機械の部品に損傷があったとき



機械の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、機械の上に置かないでください。

- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- クリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。



消耗品収納部には液体や粉体、微小な金属片およびそれらの入った容器を収納しないでください。液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となります。



消耗品収納部には危険物（壊れ物、揮発・引火性物質、薬品、生き物など）を収納しないでください。引火し、火災の原因となります。



電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。



機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。



トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。



付属のメディア（CD-ROM、DVD 等）をメディア対応機器以外では絶対に使用しないでください。高音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。



レーザーについて

注意：取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被ばくの原因になるおそれがあります。失明、やけどなどの原因となるおそれがあります。

この機械は、レーザーの国際規格 IEC60825-1:2014（Class 1 レーザー機器）に適合しています。このことはレーザー被ばくの危険がないことを意味しています。レーザーは機械内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。したがって、お客様のご使用中にレーザーに被ばくすることはありません。

Laser Diode (ROS Unit 内)：レーザークラス 3B
波長：780nm (±10nm)

ビーム発散角： $\theta // 15\text{deg} (+2.5^\circ / -2^\circ)$ ，
 $\theta \perp 13\text{deg} (+3^\circ / -2^\circ)$

パルス幅：CW

反復率：CW

最大出力：30.6mW

⚠ 注意



機械の安全スイッチを無効にしないでください。機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があります。ケガや感電の原因となるおそれがあります。



機械の本体には漏電ブレーカーが付いています。機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。通常は入っている状態にしておきます。1 か月に一度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。異常などがある場合は弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店までご連絡ください。

なお、漏電ブレーカーの確認手順は以下のとおりです。

1 テストボタンを押します。

ブレーカースイッチが切れます。「|」から「○」に倒れれば、正常に作動しています。

2 ブレーカースイッチを入（「|」の状態）に戻します。

参照

- ・ブレーカーの動作点検については、『ユーザーズガイド』の「機械の構成」＞「ブレーカーについて」を参照してください。



機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。

特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。



フィニッシャーが作動しているとき、用紙排出部には触れないでください。ケガの原因となるおそれがあります。



詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。



ホチキスダストボックスを取り外すときは、針くずにより指などにケガをしないように十分にご注意ください。



まれに排出された用紙に針くずが付着される場合がありますので、指などにケガをしないように十分にご注意ください。



安全スイッチには、絶対に触れないでください。前面カバーを開けたとき、安全スイッチが働いて、機械は作動しなくなります。安全スイッチを硬貨やドライバーなどで押すと、機械は作動状態になり、ケガの原因となることがあります。



穴があいた用紙（市販の穴あき用紙など）の穴がある位置に、ホチキスを留めないでください。飛び出した針により、ケガの原因となるおそれがあります。



消耗品収納部には耐荷重 80kg を超える重量物を収納しないでください。変形や破損のおそれがあります。



消耗品収納部から収納物を取り出す際は落下しないようにご注意ください。足などにあたりケガをするおそれがあります。



消耗品収納部扉の取っ手部を持ってやさしく開閉してください。扉の上部や下部を持って開閉すると、指などを挟みケガをするおそれがあります。



消耗品収納部扉に体重をかけたり扉を無理に持ち上げたりしないでください。破損するおそれがあります。



消耗品収納部扉を全開にしたら、それ以上は無理に広げないでください。破損するおそれがあります。



消耗品収納部扉に衝撃を与えないでください。変形や破損の原因となり、扉が落下してケガをする恐れがあります。



書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。



機械を移動するときは、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。



換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

消耗品取り扱い上の注意

⚠ 警告



消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。



こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。

本製品内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することをおやめください。

掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。

大量にこぼれた場合、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。



トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。



トナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

⚠ 注意



ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。



ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。



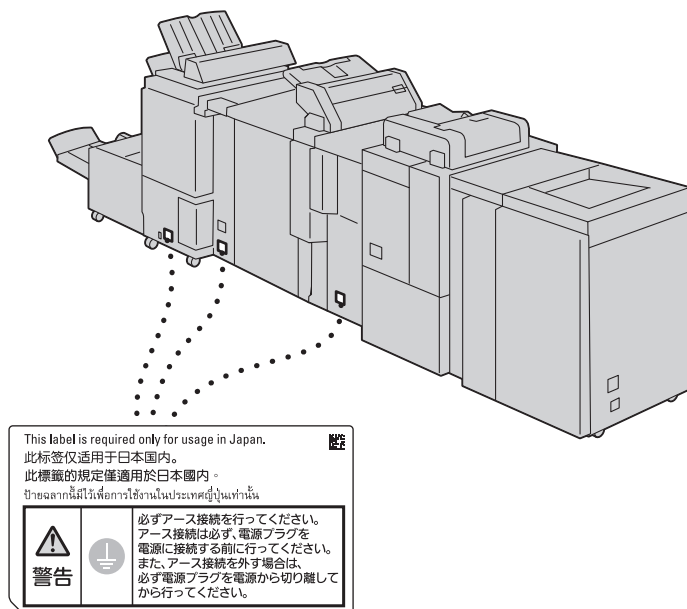
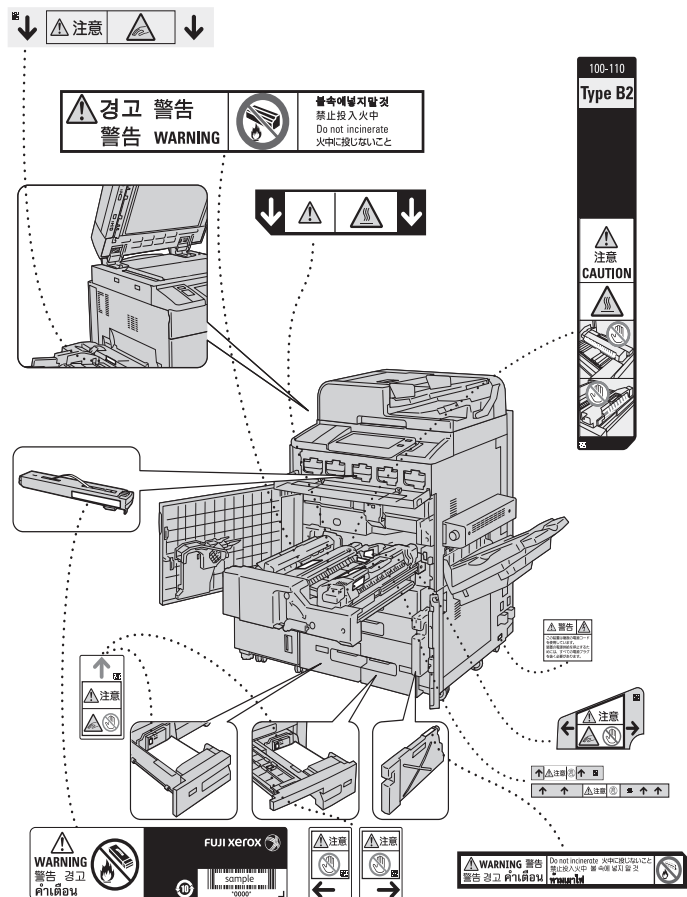
次の事項に従って、応急処置をしてください。

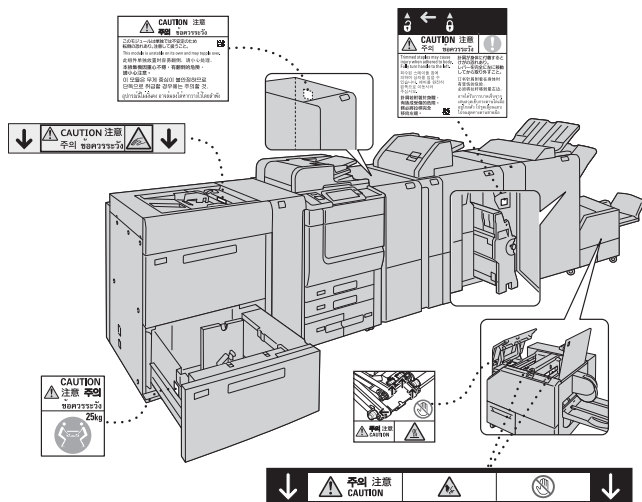
- トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置



機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。





規制について

警告



航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本装置の設置および使用は許されません。

電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

また、航空機内などの使用を禁止されている場所で本装置を使用した場合、法令により罰せられる場合があります。



医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠動脈疾患監視病室（CCU）には本装置を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本装置（ApeosPort-VII C7788/C6688/C5588、DocuCentre-VII C7788/C6688/C5588）を使用しないでください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本装置（ApeosPort-VII C7788/C6688/C5588、DocuCentre-VII C7788/C6688/C5588）を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本装置または本装置のワイヤレスカードシステムのリーダライタ部（アンテナ部）から 12cm 以上離れて携行および使用してください。

電波により埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。

埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本装置（ApeosPort-VII C7788/C6688/C5588、DocuCentre-VII C7788/C6688/C5588）の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

本製品から微弱な電磁波が出ています。

植込み型医療機器（ペースメーカー等）を装着されている方で、体調に何らかの変化があると感じた時は、本製品から直ちに離れてください。そして、医師にご相談ください。

電磁波障害対策自主規制について

注意



この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

受信障害について

注意



ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われる場合は、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。

電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適合しています。

ソフトウェアの使用許諾について

このメディアを皆様にご提供するに当たり、下記の「ご使用条件」にご同意いただくことを、提供の条件とさせていただきますので、パッケージを開封される前に下記の「ご使用条件」を必ずお読みください。なお、皆様がパッケージを開封された場合には、本「ご使用条件」にご同意いただいたものとし、万が一ご同意いただけない場合には、ご使用できませんようご注意ください。

ご使用条件

- 弊社は、このメディアで提供する情報について、内容や正確性・安全性などについては商品性および特定の使用目的

への適合性についての保証を含め、黙示的にも明示的にもいかなる保証もいたしません。

- このメディアで提供する情報の著作権は弊社に帰属します。
- メディアの内容を金銭の授受の如何を問わず第三者のためにまたは第三者に対し、複製、加工、販売、出版、閲覧、公開することはできません。

注意制限事項について

本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

本機使用上の注意 / 制限

■ 電源・主電源を切るときのご注意

電源を切ったあとも、しばらくの間は本機内部で電源オフ処理をしています。従って、電源を切った直後に主電源を切らないでください。タッチパネルディスプレイに画面が表示されているとき、または電源 / 節電ボタンが点滅しているときは、主電源を切らないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。また、電源を切ったあと、画面表示が消える前に電源を入れても、すぐに起動しません。電源を入れる場合は、操作画面の表示が消えたことを確認してから入れてください。

■ 節電状態からの操作について

- 本機では、[節電解除の制御] の初期値が [使用する部分のみ解除する] に設定されています。

参照

- 設定については、『ユーザズガイド』の「仕様設定」>「共通設定」>「節電モードの設定」を参照してください。
- スリープモードから復帰後、仕様設定の操作が可能になるには、数秒がかかります。
- タッチパネルディスプレイの点灯が必要な操作（コンピューターからのプリント指示など）をした場合、電源 / 節電ボタンは点滅したままになります。
- スキャナーを使用するサービスが選択されていない状態などのように、原稿送り装置に通電されていない状態で原稿送り装置の上面カバーを開閉しても、タッチパネルディスプレイにメッセージは表示されません。ただし、上面カバーを開いた状態で通電する（節電を解除する）と、タッチパネルディスプレイに確認メッセージが表示され、エラーとなります。
- 節電中に原稿カバーを開けた場合、節電を解除します。
- 節電解除後、原稿読み取り装置が通電されていない状態で原稿カバーを開けた場合、原稿読み取り装置および原稿送り装置に通電されます。ただし、原稿ガラスで原稿検知が可能になるためには、原稿ガラス内の原稿読み取り部が、原稿サイズ検知位置に移動するのを確認してから原稿カバーを閉じてください。
- 節電復帰後、コピー、セキュリティープリント出力などの出力装置を使用するサービスが選択されていない状態で次の操作をしても、タッチパネルディスプレイにメッセージは表示されません。
 - 原稿送り装置の上面カバーの開閉
 - 正面カバーの開閉

- 左側面下部カバーの開閉
- 用紙トレイの引き出し
- フィニッシャーのフロントカバーの開閉、ボタン押下など、すべての操作

ただし、各カバーを開いたまま、または用紙トレイを引き出したままの状態に通電する（節電を解除する）と、確認メッセージが表示され、エラーとなります。

- 節電解除後、出力装置を利用する機能が実行されていない状態では、トナー残量やドラムの状態、用紙などの消耗品関連の情報と、用紙トレイの状態は、節電状態に入る前に検知した値を表示または通知します。
- 節電解除後、出力装置を利用する機能を実行する前にコピー機能を利用する場合、次の点に注意してください。用紙トレイにセットされている用紙サイズや残量などの情報は、節電に入る前の情報が表示されています。節電中に用紙サイズ、残量を変更した場合、画面に反映されるまでに数秒かかります。
- タッチパネルディスプレイの初期表示画面に、コピー、らくらくコピー、ジョブメモリー、音声ナビを設定している場合は、節電状態が解除されると、本機全体が節電解除されます。
- トレイセット時の用紙変更画面表示が「する」に設定されている場合は、節電状態が解除されると、本機全体が節電解除されます。
- EP-DX による EP サービス利用時は、スリープモードが解除され、本機全体が節電解除されます。EP-BB による EP サービス利用時は、スリープモードは解除されません。
- [仕様設定 / 登録] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [USB] > [USB- プリントモード指定] を [自動] 以外に設定しているときは、節電状態が解除されると、本機全体が節電解除されます。
- ContentsBridge Utility のジョブチケットを使って、セキュリティープリント実行した場合、出力装置にも通電されます。

コピー機能使用上の注意 / 制限

■ 白黒原稿 / カラー原稿混在時の N アップ機能とメーターのカウンタについて

白黒とカラーが混在した原稿を [まとめて 1 枚 (N アップ)] でコピーした場合、白黒ページとカラーページが 1 枚になったページは、カラーページとしてカウンタされます。

■ 両面プリントでのメーターのカウンタについて

両面プリントする場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。このときにアプリケーションが挿入する白紙出力は、カウンタアップの対象となります。

■ 透かし印字でのメーターのカウンタについて

複製管理拡張キットを利用して原稿に透かし印字（アノテーション、強制アノテーションなど）をした場合、メーターのカウンタは次のようになります。

- カラー原稿の場合は、透かし印字の有無にかかわらず、カラーコピーでメーターがカウンタされます。

- 白黒原稿の場合は、透かし文字をカラーで指定していればカラーでカウントされ、白黒で指定していれば白黒でカウントされます。

■ 2色コピー / 単色コピー時のメーターカウントについて

2色カラーコピー、単色カラーコピーは、カラーコピーでメーターがカウントされます。

■ カラーモード〔自動〕について

コピー機能でカラーモードの〔自動〕、プリンター機能でカラーモードの〔カラー（自動判別）〕を選択した場合、原稿が白黒であっても、イエロー、マゼンタ、シアンのドラムやトナーを消耗する場合があります。

また、〔仕様設定〕 > 〔共通設定〕 > 〔その他の設定〕 > 〔カラーモード自動時の印刷動作〕で〔速度優先〕を選択した場合は、常にイエロー、マゼンタ、シアンのドラムやトナーが使用されるため、白黒の原稿であっても、イエロー、マゼンタ、シアンのドラムやトナーが消耗します。

ファクス機能使用上の注意 / 制限

■ ファクスの対応機能について

本機は、以下の機能には対応していません。

- ISDN 接続
- G4 通信
- 中継同報の中継局機能
- ワイルドカード（*）による全宛先指定
- 増設回線での通話機能

■ 光回線や IP 電話回線におけるファクス通信について

当社製品は、NTT のアナログ回線規格に準拠しています。お客様が利用している（または、これから利用しようとしている）回線が、光回線や IP 電話回線の場合には、伝送路の回線品質（パケットロス、エコー、遅延など）により、ファクス通信がエラーになることがあります。その場合は、回線事業者にお問い合わせください。

■ F コード通信で対応している機能について

F コード通信で対応している機能は、親展送信、親展ポーリング、親展受信文書、中継同報、リモート中継同報だけです。

■ 中継同報機能について

本機には、中継指示局の機能はありますが、中継局の機能はありません。

本機は G4 通信に対応していませんが、中継局が G4 通信に対応している場合は、中継同報指示として、中継局が行う G4 通信の機能を選択できます。

■ ホームテレホンやビジネスホンの接続について

本機は、ホームテレホンやビジネスホンにはそのまま接続できません。

工事店にお問い合わせください。

そのまま接続すると、故障や発煙の原因になることがあります。

認証 / 集計管理機能使用上の注意 / 制限

■ ジョブ操作の設定に関するご注意

〔仕様設定〕 > 〔認証 / セキュリティ設定〕 > 〔ジョブ操作の設定〕で、ジョブの表示をしない設定にした場合、自分が実行したジョブを止めたり、削除したりできなくなります。そのため、コピー操作やファクス誤送信の場合でも、自分でジョブをキャンセルできません。

SDS（安全データシート）の提供について

「労働安全衛生法」に基づき、本機用消耗品の SDS を弊社ホームページにて公開しています。

